

「どやの」とは、福井弁で「どうですか?」「いかがですか?」という意味で、ボランティア活動などちょっと始めてみませんか?という思いが込められています。

団塊の世代の皆さんへ あなたの力を地域に活かしませんか

2007年問題と呼ばれるいわゆる「団塊の世代」の大量退職。今、その知識も経験も豊富な方々の市民活動への参加が全国的に期待されています。今何がやりたいか分からないという方も、身近なところからチャレンジしてみたいかどうかがでしょう。今回は既に活動をされている、団塊の世代にあたるお二人にお話を伺いました。

☆徳橋寿治さん「鯖江市国際交流協会」 ～日本語を教えるボランティアで 新しい出会いの毎日～

定年後どうするか? 50歳をしばらく過ぎた頃、そんな心配をし始めたと言った徳橋さん。「当時は趣味を聞かれても無趣味と答える程度。一眼レフのカメラを購入し写真に一時凝るも才能なしと判断」と振り返る。仕事一筋でやってきた徳橋さんは、その頃鯖江市国際交流協会を紹介され、ボランティアに出会ったのです。



勉強したいという熱意のある生徒さんを前に、自然と意欲が湧いてきます。

教えて! 自分にできることって何がある?

私も当初は、日本語しかできない自分に何ができるか自問自答しました。しかし何回か出入りすると、幅広い年代の友達ができ、そんな仲間と外国人のための活動を企画することがとても楽しくなりました。今は中国の研修生に日本語を教えています。教える事は思ったより難しく大変ですが、自分も勉強しながら充実した日々を送っています。活動しながら新しく学んでいく事もできるのです。

教えて! やっとゆっくりできるのに、 今度は活動に縛られるのはちょっと…

定年でやっと自分の好きな時間を持つてると思っておられる方は、意外と多いと聞いています。その時間を、どのように使うかが問題なのです。

ある先輩は、定年になったらこれとあれと…と、いろいろ定年後のスケジュールを考えて、実行に移しましたが、1年でやり終えてしまったそうです。

ボランティアは、自分の好きな時間や、空いている時

に出来る活動です。活動計画や、時間に縛られることはありません。もっと気軽に考えて、自分のペースで参加してみたいかどうかがでしょうか?

同世代の方へメッセージ

～会社時代とは違う自分へ～

はじめの一步は勇気がいりますが、中に入ればいろいろな出会いがあります。会社組織とはまったく違った組織で活動できるのも魅力のひとつ。

また、活動を通して自分の目標が見つかるかも知れませんし、夫婦で参加すれば、共通課題ができてお互いの新しいところを発見できるかも…。定年後が、会社時代とは違った生活に変わり、更に充実の毎日に変貌するでしょう。ぜひチャレンジしてみてください。



編集・お問い合わせ この回覧板は、鯖江市との協働事業で発行しています。

特定非営利活動法人 **さばえNPOサポート**

〒916-0024 鯖江市長泉寺町1丁目9-20 鯖江市市民活動交流センター内

TEL : 0778-54-7055 FAX : 0778-54-7058

E mail : info@sabae-npo.org



♥誰でも気軽に使える情報発信♥

鯖江市内の市民団体ならばイベントやお知らせを掲載できます。

ホームページ : <http://www.sabae-npo.org/>